わたしのまちづくり

情:とても大きな目的ですね。かなり大変なよう

に思いますが、どうして関わろうと思ったの

一言でいうと「恩返し」です。子どもの頃から

長久手で育ち、大学進学のため愛知県を離れ

全国を転々としながら必死で仕事をしてへ

ですか。

恩返し」と「恩送り」

のか、どうしたらみなさんに気持ちよく使って

もらえるかなどを考えるため設立されました

ザインする」ためにどのように運営したらいい ざまなテーマについて、「新たなつながりをデ

ここでは、主体的に活動している市民に情報課職員が取材したことを紹介します。

代表の人がいます。「大学連携」「観光交流」「多

文化共生」「子育て支援」をはじめとしたさま

はもちろん、市内で活動している各種団体の

て考える市民活動団体です。メンバ

ーは、市民

山田将史さん(以下「山」): リニモテラス運営協

議会は、リニモテラス公益施設の運営等につい

ついて教えてください。

リニモテラス運営協議会会長 山田 将史 さん

最近では、今まで以上に身近にある「小さ 大きな出来事があって、自分の生き方を はなく、わざわざ道沿いに花を植えてく えば、道沿いにきれいな花が咲いていたと 考えることがきっかけになったんですね。 ど、恩返しの気持ちが芽生え、自分の考え があふれていて、それに気づけば気づくほ 地域には、こうした目に見えない人の思い れた人の思いやりに気づくことが大切。 な幸せ」に目が向くようになりました。例 しましょう。「きれいだね」で終わるので

思ったんです。その後長久手市に戻って

「おかげさま」で自分は生きているって

今の自分がいるんだ、全ての人や出来事の なさま、先人のみなさまに支えられたから を見てくれたんです。あの当時、地域のみ

まり等のときに、地域の人がいろいろ面倒

山

期に市内に住んでいて、お祭りや地域の集

たことが目に浮かんできたんです。幼少 のときに、なぜか、長久手市で過ごしてい なって、生き方を考え直したんですね。そ

目を引き受けることにしました。

チャンスでは?と。このような葛藤を乗

00年後の子どもたちに「恩送り」する

り越え、心の奥底の情動がはたらき、お役

たのです。「恩返し」をするチャンスでは?

「先人のみなさんからのご恩」が頭によぎっ

とても迷いましたね。しかしながら、ふと、

考えたんです。何のために生きているのか

自分は何のために働いていたのかなって 滅的な被害を受けたんです。そこでふと

きたんですが、「恩返し」と「恩送り」を大切

「小さな幸せ」に感謝

- :それでは、最後に市民のみなさんにメッ セージをお願いします。
- イベントを企画したり、ボランティアに 参加することだけがまちづくりではない

ました。火中の栗を拾いにいくようなもの

を知りませんし、反対の声もたくさんあり

山

スってとても大きな取り組みで、誰も正解

のもありましたが、そもそもリニモテラ うと思っていました。自分の会社が忙しい

情

す。本音を言いますと最初はお断りしよ

ス運営協議会会長の打診があったわけで

ようになりました。そんな中、リニモテラ

方や行動が変わると思うんです。

経営もプライベートも全てが順調に進む

に考え方を180度変えることで、会社

リニモテラス公益施設は こちら

リニモテラス公益施設に関する最新の情報 を掲載しています。

Weeklyながくては こちら



「Weeklyながくて」でもリニモテラス運営 協議会の活動の様子を取材しています。

それが「新たなつながりをデザインする」の第 役立ち」が長久手で一番あふれる場にした る場所でありたい!一人ひとりのちょっとし 始まっています。リニモテラス公益施設は、そ 気づき、そこに感謝することからまちづくりは い!まずは何気なくふらっと来てください! た「困りごと」「やってみたいこと」「小さなお んな街中の「小さな幸せ」をたくさん紹介でき と思っています。身近にある「小さな幸せ」に んなど、どなたでもぜひお越しください 一歩になりますので!今後さまざまなイベン トも実施予定ですので、子育て中の人、学生さ

きました。さらには起業し会社を立ち上げ

ました。しかしリーマンショックにより壊

広報ながくて 2021年6月号

5

の山田将史さんにお話を伺いました。

情報課職員(以下「情」):今日はよろしくお願いし

ます。早速ですが、リニモテラス運営協議会に

ついて考えている、リニモテラス運営協議会会長

今回は、リニモテラス公益施設の運営などに